

## 日本、アジアのシマアオジ保全

〒103-0014  
 東京都中央区日本橋蛸殻町1-13-1  
 ユニゾ蛸殻町北島ビル1階  
 電話:03-6206-2941  
<http://tokyo.birdlife.org/>



ひろげる助成

1年目

調査研究



ロシア・ドヴェリのワークショップ参加者

|                      |      |
|----------------------|------|
| シマアオジ標識調査<br>(捕獲個体数) | 18羽  |
| ロシア・シマアオジWS<br>参加地域  | 11地域 |
| 今年度計画の達成度            | 95%  |
| 活動の全体目標に対する<br>達成度   | 30%  |

### 苦労した点と工夫した点

#### ■ 苦労した点

繁殖地の野外調査は現地に長期間泊まり込みのため、調査準備を入念に行った。調査では蚊の対応に苦慮した。

#### ■ 工夫した点

標識は金属リングの他、地域別に色分けしたカラーリングを装着し、越冬地や中継地でもどの繁殖地から来た個体か識別が可能。



#### 課題

シマアオジはユーラシア大陸で最も多い鳥類の一つであったが、現在では絶滅の危機に瀕している。シマアオジの国際保全計画を立案すると共に、早急な保全対策を実施する。

#### 目標

シマアオジの国際保全計画の立案、北海道及びサハリン個体群の安定・回復(に必要な調査)、越冬地の状況把握、シマアオジなど渡り性陸鳥類の密猟対策・保全への理解促進。

#### 活動内容と成果

●ロシア鳥学会議でワークショップ、円卓会議を開催：  
 ヨーロッパロシアから極東ロシアまで11地域以上から約70名が参加。繁殖地での生息状況を広く網羅し、保全に必要な対策を検討した。

- 北海道と共通性の高いサハリン個体群の調査を実施：サハリンの繁殖地域をほぼ把握し、18個体のシマアオジに標識放鳥した。
- 中国南部において、シマアオジを含むホオジロ類の生息調査、密猟等の現況調査を実施した。シマアオジのIUCNレッドリスト・絶滅危惧IA類指定を受け、イメージビデオや教材案・リーフレットを作成した。



サハリン北部での標識調査にて

#### 今後の展望

来年度は国際鳥類学会で意見を募り、保全計画案の検討を進めるほか、サハリンではジオロケーターを用いて渡りの調査を開始する。サハリン以外の繁殖地、越冬地とも連携し、シマアオジ個体群の回復を目指したい。